

南八ヶ岳 花を訪ねての山旅

6/29 美濃戸口～南沢～行者小屋テント泊

6/30 阿弥陀岳～中岳～赤岳～地藏尾根～行者小屋～赤岳鉱泉テント泊

7/1 赤岳鉱泉～硫黄岳～横岳～地藏尾根～行者小屋～赤岳鉱泉～美濃戸口

梅雨明けで快晴に恵まれた、花の山行でした。コマクサには早過ぎ、ツクモグサには遅過ぎでしたが、素晴らしい花畑の連続で感動の連続になりました。



硫黄岳から横岳、赤岳、阿弥陀岳を望む



ウツボグサ



キバナノヤマオダマキ



美濃戸口から南沢に入ると、シロバナヘビイチゴの群生が連続します。



サワギク



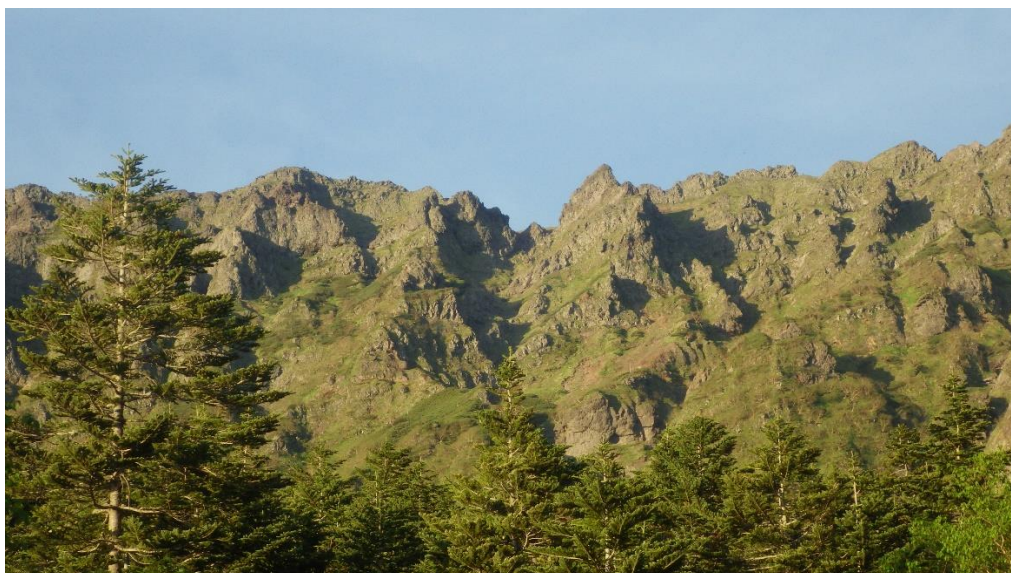
ハリブキ（ジゴクバラ）全体が針に覆われている



キバナコマノツメ

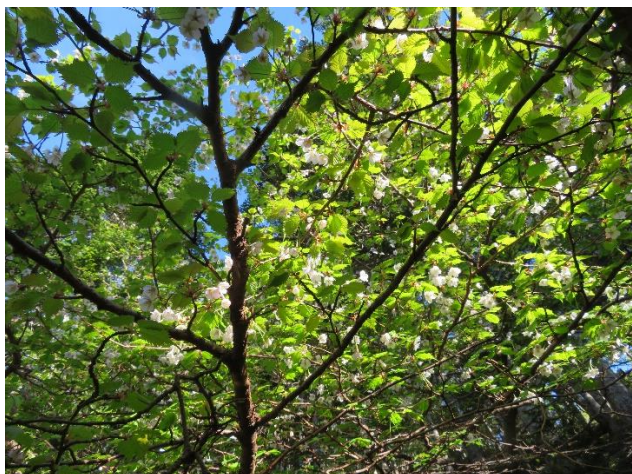


沢沿いの斜面に群生



行者小屋付近からの横岳西壁（夏、冬クライミングのメッカ）

6/30 快晴の中、阿弥陀岳へ中岳鞍部を目指す。



ミネザクラ（まだ花が咲いていた）



ツガザクラ



マイズルソウ



ハクサンチドリ



ヒメイチゲ



オサバグサ



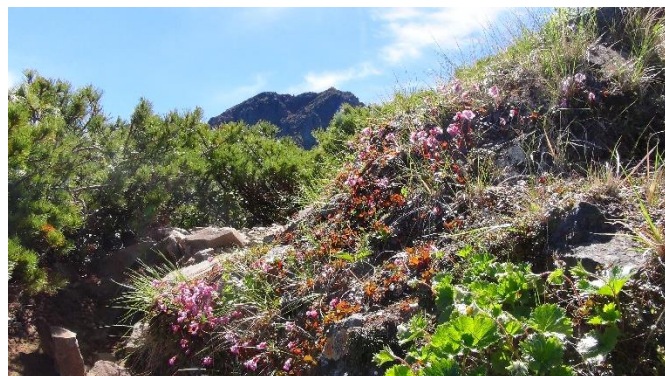
ミツバオウレン



ミツバオウレン群生



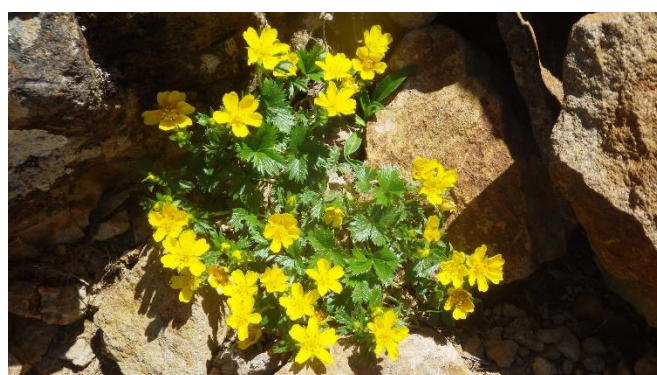
コイワカガミ



コイワカガミ群生（後方は赤岳山頂）



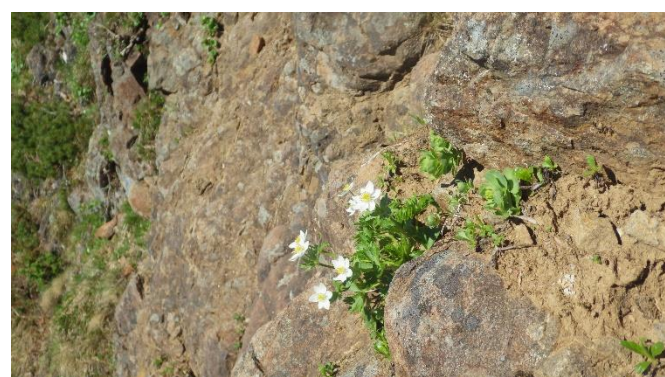
イワベンケイ



ミヤマキンバイ



ハクサンイチゲ



岩壁にもハクサンイチゲ

阿弥陀岳の登山道は急坂で荒れています。落石の危険があり、ヘルメット装着は必須。初心者が多いので石を落とされる危険があり、細心の注意が必要。花は連続します。



ミヤマダイコンソウ



ミヤマシオガマ



阿弥陀岳山頂から権現岳、富士山

中岳から文三郎尾根分岐までの縦走路に、コマクサの小群生がありました。(まだ蕾)
いつもは、文三郎尾根分岐で厳しい強風に更されるのですが、今日は無風快晴！



阿弥陀岳山頂



イワヒバリ



赤岳山頂直下（龍頭峰分岐）

鎖の連続で、岩の登山道（急坂）が続きます。
夏空の日射は厳しく、風が弱い所で日射病になりそうでした。水分補給は重要です。
1リットル携行していましたが、不足して天望荘で1リットル分購入しました。
ペットボトル500cc ¥500。高価ですが仕方ありません。
赤岳山頂から急坂を下り、天望荘までの緩やかな尾根にはコマクサの小群生があります。



コマクサ（まだ早過ぎて、貴重な花）



地蔵の頭

地蔵尾根は、鎖と階段の連続。急坂ですが、阿弥陀岳登山道に比較すると整備されていて安全。樹林帯に入るまで急坂が続きます。午後からガスに包まれて、濡れてくると滑りやすく要注意。行者小屋～赤岳鉱泉に移動して、テント泊。

7/1 4：50赤岳鉱泉発 赤岩の頭から硫黄岳へ



キバナシャクナゲ



ツガザクラ



コマバツガザクラ



コマバツガザクラ群生

赤岩の頭から硫黄岳の岩峰に向けて登って行くと、岩陰に花の群生が始まります。振り返れば、横岳から赤岳、阿弥陀岳への長い山嶺が一望のもとにあります。ここはこれまで幾度となく烈風に苦しんだところですが、今日は無風快晴！硫黄岳山荘からボッカの男性が、空の発泡スチロール箱十数個を背負って《ドッカドッカ》と派手な音を立てながら、オーレン小屋に向けて下って行きました。



イワヒゲ



イワヒゲ群生



ミヤマシオガマ



ミヤマシオガマ



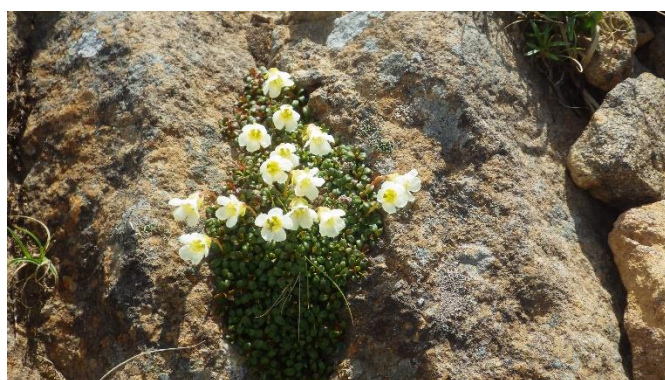
コイワカガミ



クモマナズナ



イワウメ



イワウメ



ウルップソウ



ウルップソウ群生



オヤマノエンドウ



ミネズオウ



ミヤマハタザオ



ミヤマオダマキ



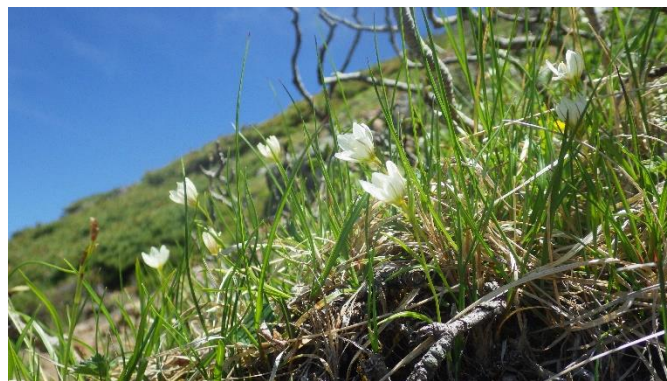
チョウノスケソウ



チョウノスケソウ群生



小さな花畑



ミヤマアマナ



コマクサ (貴重な開花1株)



コマクサ群生 (まだ固い蕾)



硫黄岳～横岳縦走後、昨日と同じ地藏尾根を下山。赤岳鉱泉テント撤収後、北沢を美濃戸口へ。長い林道歩きです。



クリンソウ



イブキジャコウソウ

美濃戸口⇄JR 茅野までは8月 土日、祝日しかバス便はありません。タクシー約¥6000
林道歩きは、アブが多数攻撃してきます。(虫よけ対策必須です！)

7/2 JR 松本からバスで美ヶ原に行き、2時間散策して帰りました。



ハクサンフウロ



テガタチドリ



レンゲツツジ



レンゲツツジ (斜面を染めていました)



サラサドウダン



サラサドウダン



ゲンバイツル（長野県貴重種）



王ヶ頭の電波塔

美ヶ原は季節を通じて繰り返し訪れて、ゆったりと過ごす場所にふさわしいと思いました。山頂にホテルがあるので、しばらく滞在して雨の景色や霧の景色を楽しむのが良いですね。

安佐岳友クラブ 大藤